

令和8年度 第2回学校運営協議会議事録（発信者ごとの要点議事録）

日時：令和8年7月1日（水）
場所：田無第一中学校 校長室
出席者：紺野 愛子委員 鈴木 隆文委員 鶴野 美代子委員 水野 裕子委員 澤井 稔委員 歌田 多恵委員 欠席者：小野 千代乃委員 瀬沼 洋子委員 出席者が過半数を超えているため、本会議は成立
1. 校長挨拶（1学期の振り返りと教育方針） - 生徒の成長：赴任後3ヶ月が経過。運動会や修学旅行などの行事を経て、残り2週間となった1学期の間で生徒の大きな成長を実感している。 - 方針の継承：前校長から引き継いだ経営方針「耐える力」「折れない心」に基づき、人間関係形成能力を育むため、本日の「ライフスキルプログラム」を重視している。 2. ライフスキルプログラムの取り組みと本日の授業参観 - 進捗と今後：1学期は行事が立て込み計画の遅れもあったが、本日を皮切りに通年で取り組む。参観後は、メイン担当の教諭を交えて意見交換を行う。 - 本日の授業内容と各学年の主眼： - IJ学級：プール授業回数確保のため、本プログラムは明日実施（本日はライフスキルプログラム実施なし）。 1年J組「怒りとの付き合い方」：怒りによる体の変化を自覚し、感情に流されず考え方をプラスに変える思考を学ぶ。 2年「行動計画」：長期目標の達成に向け、短期目標を設定して行動力を伸ばす。 2・3年J組「感情や気持ちって何だろう」：感情を表す多様な言葉を出し合い、他者との捉え方の違いを学ぶ。 3年「意思決定」：ライフスキルの核心となるプログラム。 3. 教材（ライオンズクエスト）の運用について - デジタルと紙の併用：教材はデータ提供（ライオンズクエスト）が基本だが、画面上では他ページとの見比べが難しいため、生徒・教員ともに紙（プリントアウト）をベースに授業を行う。 - 冊子教材の活用：教員が柔軟に対応できるよう、過去に購入した冊子体の教材も自由に使えるよう配備している。 4. その他（授業参観への移動） 13時30分の授業開始に合わせ、委員一同、各教室の授業参観へと移動。 ~~~~~授業参観~~~~~

5. 担当教諭（安藤先生）からの報告

- 1年生の様子（仲間を知る）：入学から3ヶ月が経ち、互いの新たな一面を発見する有意義な時間となった。
- 生徒の意識変化：「夏休みが楽しみではない（塾や部活で多忙なため）」と答える生徒が3分の1おり、小学生からの意識の変化が見られた。
- 工夫点：避難訓練時の「バディ（ペア）」を活用して相互インタビューを実施したところ、深い自己紹介や共通点の発見に繋がり、効果的であった。

2. 委員からの感想・意見

- 生徒の表現力と成長：昔に比べて自分の意見をハキハキと言える生徒が多い。また、中学校3年間の成長の大きさを改めて実感した。
- 各学年の特色：
 - 1年生：賑やかでクラスの雰囲気が良く、仲の良さが見られた。
 - 2年生：昨年から引き続き大人しく静かな傾向がある。周囲を気にする様子も見られたが、クラスごとに年間計画などの目標設定をしっかりと立てられており感心した。
 - 3年生：賑やかさの中にも受験モードの落ち着きがあり、しっかり考えて取り組んでいた。「最善（善）を考える」という道徳的なアプローチも非常に良かった。
- プログラムへの評価：目標設定のパターンや、誘惑に負けない優先順位の付け方を学ぶことは、今後の人生や危機管理（物事の判断基準）において非常に重要である。

3. 校長講評

- 授業の振り返り：担任ごとの導入の工夫が見られた。授業の「ねらい」が生徒に確実に伝わるのが重要である。
- 学校のあり方：家庭で発散できない子もいる現状を踏まえ、学校は安心して「発散できる場」であり、笑顔が溢れる場所であるべきだと考えている。今後もプログラムを活用し、教育活動を行っていきたい。

4. 今後の予定（連絡事項）

- 次回予告：次回は「セーフティ教室」を兼ねた学校運営協議会を開催予定（今回と同時時間帯の午後を予定）。詳細は決まり次第、追って連絡する。

以上をもって、第2回学校運営協議会を閉会とした。